

仙台とカジカガエルの物語

「広瀬川のカジカガエルと野鳥」

平成八年に環境省は全国各地で、将来に残していきたい「日本の音風景100選」を選定しました。その中の一つに選ばれたのが、「広瀬川のカジカガエルと野鳥」。大都市の市街地で、カジカガエルの鳴き声を楽しむことができるのは全国的にも珍しく、仙台の美しい魅力の一つになっています。

あら、こんなところにも。

これは、JR仙山線 陸前落合駅からちょこっといったところにかかっている、大沢橋とそこからの川の写真。



おーい、カジカガエル、どこにいるんだ～？

1960年代、水質汚染によって、市街地でカジカガエルが姿を消した時代もありましたが、1965年の放流活動等により、再び市街地で生息が確認できるようになりました。でも、周辺の森林の開発や台風などの影響により、カジカガエルの生息環境は刻々と変化しています。

生息地を把握し、将来にきちんと残していくため、仙台市では専門業者による生息地調査をしています。

でも、この広い仙台市を全て調査するのはなかなか大変！そんな訳で、皆さんからのカジカガエル生息情報を募集しています。

鳴いているのを見つけたら、

- ・場所 ※くわしくお願いします！
- ・日にち
- ・時間

をコチラ(↓)まで教えてください！

仙台市 環境局 環境共生課

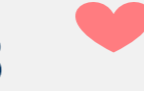
☐kan007130@city.sendai.jp / ☎022-214-0013

場所や年によって少しずつ変わるけれどよく鳴くのは・・・

5月～7月頃
特に夕方から朝

太白山
自然観察の森
とか、ね。自然に詳しい
レンジャーさんもいるよ

川の中流～上流
大きめの石がある河原



探しています

ふいふいふい♪

歌う♪河鹿蛙



日本人が、千年以上前から愛した蛙ーカジカガエル

ん？何の声だろう？
ふいふいふいふい・・・
初夏、川でこんな、きれいな鳴き声をきいたことはありませんか？

「方丈記」で知られる鴨長明(鎌倉時代)も、「無名抄」の中で、
かれが鳴きたるは、
いみじく心澄み、
物哀なる聲にて
なん侍る

(一九九七年 岩波書店 久松潜一校注
『日本古典文学大系65歌論集 能楽論集』
五十頁より引用)

とカジカガエルの鳴き声について書いています。

日本人は古来よりこのカエルの鳴き声に魅せられ、日本最古の和歌集の「万葉集」にも、このカエルを詠んだ歌が多くあります。

もっと知りたい！ カジカガエルのイ・ロ・ハ。

東北大学の太田宏先生にきました！

Q どういう川が好きなの？
A 芋煮会をやるような場所、といった分かりやすいかな。川の中流、上流付近の、大きめの石が河原にゴロゴロしているような場所だね。

Q なんで鳴くの？
A 繁殖のため、オスがメスを呼んだり、縄張りを主張するために鳴いていたり、と考えられていますよ。

Q いつ鳴くの？
A カジカガエルの恋の季節(繁殖期)、初夏から夏にかけて鳴くよ。昼間も鳴くけど、夜によく鳴くね。

Q 鳴いていない時期も川にいるの？
A 川のそばの森などに移動して、生活していると考えられていますよ。

Q カジカガエルを守るため、大切なことは？
A カジカガエルの好きな川とまわりを一緒に残すこと。あと、芋煮会を楽しんだ後は、ごみをきれいに持ち帰ること！